ひかりのこ

8･9月園だより

認定こども園
聖ミカエル幼稚園
2026年8月20日

みんながそろう2学期の始まり

厳しい暑さが続いていますが、朝夕には少しずつ涼しい風が感じられるようになってきました。園庭では、季節の移り変わりを知らせる虫たちの姿も見られるようになった今日この頃です。

夏の間、園では2号認定、3号認定の子どもたちが元気に過ごしていました。いつもより少人数での生活となりましたが、その分、一人ひとりが落ち着いて遊びに取り組み、異年齢の友達との関わりを深める姿が見られました。乳児部の子どもたちも、毎日の生活の中で少しずつできることが増え、大きな成長を見せてくれています。

そして、いよいよ今日から1号認定の子どもたちが園に戻ってきます。久しぶりに友達と顔を合わせる喜びや、夏休みの思い出を伝え合う楽しさを感じながら、再びにぎやかな毎日が始まります。「こんなことをしたよ」「こんなところへ行ったよ」と、子どもたちからどのような話が聞けるのか、職員も楽しみにしています。

２学期は、乳児も幼児も心と体が大きく成長する学期です。お買い物ごっこ、生活発表会、クリスマスページェントと、さまざまな行事が続きます。
お買い物ごっこでは、年齢の異なる子どもたちが協力しながら準備を進め、お客さんのお友達や先生たち、乳児のみんなとのやり取りを楽しみます。生活発表会では、自分の気持ちや考えを表現する楽しさを味わい、友達と一つのものを作り上げる達成感を経験します。そして、クリスマスページェントでは、イエス様の誕生をお祝いするとともに、自分自身がかけがえのない存在として愛されていることを感じてほしいと願っています。

たくさんの行事がありますが、子どもたちは、行事の当日だけで成長するわけではありません。友達と意見がぶつかったり、思うようにできずに悩んだりすることもあります。しかし、その一つひとつの経験が、子どもたちの心を豊かに育てていきます。私たちは、結果だけではなく、そこに至るまでの過程を大切にしながら、一人ひとりの成長を丁寧に見守っていきたいと考えています。

2学期も、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えながら、「明るく、正しく、元気のよい光の子ども」として成長できるよう、職員一同努めてまいります。

保護者の皆さまには、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

園長　小澤　暢子

夏は、多くの子どもたちにとって、全力で成長できる貴重な季節です。長い冬のように雪の寒さに縮こまったり、分厚い冬服に身動きを制限されたりしない夏だからこそ、全身を使ってこの世界に五感をゆだねることができます。

太陽の下で目一杯に体を動かし、青空と緑の山々に囲まれて、夏の暑さや水の冷たさを感じたり、真っ赤に育ったトマトを丸ごとかじってみたり、虫たちの鳴く声を子守唄にして眠ったり…。

そうして五感が刺激されていくうちに、私たちの中にあるもう一つの感覚「誰かと共感する力」が成長していきます。怪我や病気を経験した人は誰かの痛みに寄り添う心を、目標を立ててゴールを達成した人は、がんばることと新しい自分に出会う喜びを分かち合う心を育みます。

そして、人間だけでなく、山も川も海も空も、この世界があって私たちの命が生かされていることに気が付くようになります。新学期もたくさんの経験が子どもたちの成長につながりますように。

チャプレン　上平　更